

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年2月1日

計画の名称	8 駅周辺歩行者の交通円滑化と駅前を中心とした「にぎわい」のあるまちづくり		
計画の期間	平成26年度 - 平成30年度 (5年間)	交付対象	滋賀県野洲市
計画の目標			

- ・自動車通行の分散化を図る駅前広場や周辺道路網の整備と併せて歩道改良を行い、歩行者・自転車利用者に対する安全な空間を形成すると共に、魅力ある「まちなみ」を創出し「にぎわい」のあるまちづくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・アンケート調査の結果、駅前広場のことについて、「困りごと」があるとの回答が45%あった。主な内容は、中央の横断歩道を渡る怖さや車の渋滞・走行のし難さである。整備によって、824名の調査結果で45%あった「困りごと」が、減少すると考えられる。安全性と利便性の向上により、「困りごと」は7%減少すると設定する。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	備考
370人		316人	
45% 824人		38% 824人	

JR野洲駅利用の年間乗客人数を調査する。  
 (困りごとのある人の割合) = (困りごとのある人数) / (アンケート調査の人数) × 100(%)

全体事業費	合計 (A + B + C)	757百万円	A	677百万円	B	0百万円	C	80百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	10.6%
-------	-------------------	--------	---	--------	---	------	---	-------	-------------------------------	-------

事後評価（中間評価）

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
野洲市都市建設部都市計画課において実施	事業終了後 公表の方法 市ホームページ上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
8-A1	道路	一般	野洲市	直接	-	市町村道	交安	(他)野洲駅北口支線	歩道整備 L=0.17km	野洲市						52	
8-A2	道路	一般	野洲市	直接	-	市町村道	交安	(1)北口線	歩道整備 L=0.11km	野洲市						30	
8-A4	道路	一般	野洲市	直接	-	市町村道	改築	(他)野洲駅北口広場線	駅前広場整備 A=4,278m <sup>2</sup>	野洲市						595	
											合計(道路事業)					677	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
											合計						
番号																	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
8-C1	駅前広場	一般	野洲市	直接	-	改築	野洲駅北口広場整備事業	エスカレーター整備(1基)	野洲市						80	
合計														80		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
8-C1	危険な中央の横断歩道を除去するため、代替施設となる横断歩道橋を整備する駅前広場整備事業にあわせて、この歩道橋の利用を促進するため階段部にエスカレーターを設置し利用者の利便性向上を図るものである。	

交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>横断歩道を渡らないことにより歩行者が交通事故に巻き込まれるリスクが下がる。また、車両の通行もスムーズになり渋滞する頻度が低下する。</li> <li>歩道橋にエスカレーターを設置することにより階段を利用しなくても駅改札にアクセスできるため、駅への利便性の向上と歩道橋の利用率が向上する。</li> <li>北口線、野洲駅北口支線についてはマウンドアップの歩道をフラット化し、点字ブロックも設置することでバリアフリー化することができた。</li> </ul>			
定量的指標の達成状況	<small>(困りごとのある人の割合) = (困りごとのある人数) / (アンケート調査の人数)</small>	最終目標値	38%	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を上回ることができ想定以上の整備効果が出ている。
		最終実績値	31%		
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>シェルターの範囲も増えたことにより、雨天時に濡れないで送迎等を待つことができるようになった。</li> <li>一般車の乗降場を新設することでバス・タクシーの発着場と分離できたことにより、一般車の路肩停車によるトラブルが減少し使いやすい駅前広場になった。</li> <li>駅前広場の照明が増加したことから駅前が明るくなり防犯機能としての役割も果たしている。</li> </ul>			

## 3. 特記事項(今後の方針等)

- 駅前には野洲市の玄関先でもあるため、市民および本市に訪れる皆さんが安全・安心で快適に利用できるようエレベーター、エスカレーター等の施設の維持管理および広場の清掃を適切に行っていく。

(参考様式3) 参考図面

計画の名称	8 駅周辺歩行者の交通円滑化と駅前を中心とした「にぎわい」のあるまちづくり	交付対象	滋賀県野洲市
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)		

